

第6回大阪地方会 活動報告

平成28年1月16日（土）

於：吹田徳洲会病院 地下1階 講堂

平成28年1月16日（土）吹田徳洲会病院 講堂にて、第6回大阪地方会を開催しました。当日は、会員26名、非会員33名の合計59名の方にご参加いただきました。初めて参加いただいた方も多く、大阪府以外の遠方からも多く参加いただき大変感謝しております。



はじめに、吹田徳洲会病院 副院長の北田文則先生からご挨拶をいただきました。

吹田徳洲会病院は平成26年7月に開院され、新病院に着任された時、医師事務作業補助者が配置されておらず、困り果てた末、現在の西川由美子支部長と一緒に仕事をされる事となった経緯をお話くださいました。

また、今の皆さんの活動がきちんと認められるためには医師や看護師のような資格にする必要があり、そうすべき職業であること。そのためには日頃から知識・スキルを高めるため努力をしつづけることが大切であるとの励ましと期待を熱く語ってくださいました。

続いて、『知っておきたいお薬の知識』と題して、八尾市立病院 事務局参事でおられ薬剤師でもあられる小枝伸行先生から、医師事務作業補助者として知っておくべき薬剤における知識をわかりやすく広く説明いただきました。

「なぜ薬は水で服用するのだろうか？」からお薬と飲食物の飲み合わせ、お薬の運ばれ方と血中濃度、抗がん剤の概論、お薬の副作用、また輸液については例をあげて、輸液の選択する根拠についてもわかりやすくお話いただきました。



後半は、1グループ6名～8名の9グループにわかれ、“診療支援に関することとして、代行入力の承認や診察時の医師の関わり”“マニュアルについての作成時の留意点と具体的な内容”“取り扱いデータとして、実際の取り扱いデータと活用”“書類作成時の流れと留意点”“人員配置と人材育成”というテーマでグループディスカッションを行い、最後に内容を発表いただきました。



思います。

他の施設の課題・取り組みなどを、意見交換や発表で知ることができることは、参加いただいた実務者の方にとっては、有意義な時間であったと思います。また今回半数以上の方が初参加で、ディスカッションが満足であったとの意見をいただきました。今後も、多くの情報を得ていただくだけでなく、多くのネットワークを築けるグループディスカッションにしていきたいと

最後に、大阪府支部の西川支部長より・・・

大阪府支部は、3月には今年度最後の地方会を開催致します。医師事務作業補助者にとって大切なコミュニケーションについて楽しく皆様と学びたいと思っております。そして、来年度も皆さまが気軽に参加でき、交流を深めることができる地方会をと考えております。

皆様からいただきましたご意見をしっかりと受け止め、今後の地方会開催に活かしていきたいと思っております。

また、医師事務作業補助者という職業の資格化に向けて、当研究会の趣旨や活動に賛同いただける方に一人でも多く会員になっていただきたいと思います。

医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会
大阪府支部 副支部長 事務局
府中病院 堀田 恵